

第130回

近畿地方交通審議会
神戸船員部会議事録

令和元年7月26日

神戸運輸監理部

[第130回 近畿地方交通審議会 神戸船員部会議事録]

1. 日 時 令和元年7月26日(金) 15時30分から
2. 場 所 神戸運輸監理部 調停室
(神戸第2地方合同庁舎 6階)
3. 出席者
(公益委員) 羽原部会長、関根委員、奥見委員、湊委員
(労働者委員) 浦委員、白木委員、中野委員(欠)
(使用者委員) 南委員(欠)、越水委員(欠)、小林委員
(運輸監理部) 鵜山海事振興部長、塚本海事振興部次長、
戸井海上安全環境部調整官(欠)
(事務局) 中村船員労政課長、竹内船員職業安定係長
4. 議 事
(1) 管内の雇用状況について
(2) その他
5. 閉 会

[議 事 概 要]

部会長

ただいまから、第130回近畿交通審議会神戸船員部会を開催します。
事務局から出欠状況及び資料の確認をお願いします。

海事振興部次長

本日の出欠状況ですが、今回の部会から使用者委員の交替があり、加藤汽船の加藤委員に替わり、坊勢汽船の小林委員が出席されています。

なお、本日、中野委員、越水委員、南委員は所用により欠席されておりますが、船員部会運営規則第9条の規定により、定数は満たしておりますので、船員部会は有効に成立していることを御報告させていただきます。

本日の配付資料ですが、

- ・ 議事次第
- ・ 資料1 「第129回近畿地方交通審議会神戸船員部会議事録（案）」
- ・ 資料2 「第130回近畿地方交通審議会神戸船員部会資料」
- ・ 資料3 「全国版船員職業紹介実績一覧表（5月分）」
- ・ 神戸船員部会情報
- ・ 令和元年度船員最低賃金改正予定（案）

資料は、以上でございます。

部会長

ありがとうございました。

それでは、議事に入らせていただきます。

まず初めに、第129回船員部会議事録の承認についてでございます。お手元に配付されております議事録を御確認ください。（案）のとおり承認してよろしいでしょうか。もし何かございましたら御指摘いただきたいと思います。

委員

1点だけ。この議事録には（発言者の）名前は出ないのですか。

海事振興部次長

今は出さない形になっています。他局の議事録では名前を出しているところもありますが、神戸船員部会では、過去の議事録を遡って確認しましたが、発足以来この形です。そこは自由な意見を言うことができることの証なのかもしれません。またここで、急に名前を載せるのも如何なものかと思われまますので、できればこのままの形を継続させていただければと考えています。

委員

それは結構です。でも、委員の皆さんも責任を持って出てきているわけだから、名前ぐらい載ってもいいのかなと思いますが、分かりました。結構です。

部会長

よろしいですか。特に御異議がないようでしたら、御承認いただいたものとして処理させていただきます。

続きまして、議題1でございます。令和元年6月における管内の雇用状況等につきまして、船員労政課長から御説明をお願いいたします。

船員労政課長

それでは、資料2に基づいて、神戸管内の船員の雇用状況等について簡単に御説明いたします。

6月期の新規求人件数は15件で、前月比マイナス11件。月間有効求人件数は90件となりました。次に、6月の新規求職件数は20件で、前月比プラス4件。月間有効求職件数は55件でした。ちなみに新規求職者の平均年齢は52.7歳で、船員未経験者5名（男性3名、女性2名）が含まれています。次に、求人側から見た成立件数が1件、求職側から見た成立件数も1件、月間有効求人倍率は1.64倍となりました。

以上のように6月期は若干鈍い動きとなりましたが、7月に入って急激に求人件数が伸びており、求人倍率も再び2倍を超える見込みとなっています。この求人件数の波動性は、求人票の有効期間内に成立していない求人が多いことの現れであり、依然として船員が不足している証です。当課もマッチング率の向上に日々工夫と努力を重ねてはいますが、中々思うようにいきません。

次に、失業等給付の支給状況ですが、6月末の受給資格者は4名、基本手当の支給額は1,643,953円でした。6月期は就職促進給付と高年齢求職者給付金の支給がありませんので、基本手当の支給額が支給総額となります。

次に、資料3に基づいて、全国の船員職業紹介実績の御説明をいたします。この実績は本省海事局で取りまとめた5月期のものですが、新規求人件数が1,006件、新規求職件数が366件、有効求人倍率は季節調整値で2.53倍（前月比マイナス0.14ポイント）となっています。5月期の陸上を含めた全国の有効求人倍率を調べたところ、全国平均で1.62倍（前月比マイナス0.01ポイント）と、7カ月ぶりの下降となりました。この理由については、全国的に高齢の求職者が増加したのではないかとの見方が示されていきました。ちなみに都道府県別では兵庫県が1.44倍、大阪府が1.82倍、京都府が1.61倍でした。あと、倍率が高い地域は東京都と広島県が2.12倍、愛知県が1.97倍などとなっています。

簡単ではありますが、私からの説明は以上です。（詳細説明は省略）

部会長

ただいまの説明について、御質問、御意見等ございますでしょうか。

委員

新規求人の年齢区分のところ、60歳以上とありますが、最高齢は何歳でしょうか。

船員労政課長

6月期で申しますと、73歳の3級機関の方です。

委員

近々の成立で、最高齢の方は。

船員労政課長

今すぐはお答えできませんが、70代でも成立した実績はあります。元気な方で、ガット船などの特殊な船に慣れた方は割に早く再就職できます。

委員

ありがとうございます。

部会長

特にほかないようでしたら、その次に移らせていただきます。

議題の2番目「その他」ですが、まずは公益委員から何かございましたらお願いします。

委員

本日、学長の定例会見で発表される予定ですが、神戸大学の海事科学部に代わって新しい学部が設置されることになりました。

部会長

学部改革でしょうか。

委員

上層部の話では、海事科学部を発展的に解消し、新学部を設置するということです。しかし、船員養成の部分はこれまでどおり最大90名は維持されます。また、学部全体の定員200名も維持するということです。

今のところ、仮称として「海洋政策科学部」という名前が挙がっていますが、文

部科学省との調整などがこれからいろいろあるので、変更される可能性もあります。そのうちネットニュースに上がると思いますが、これまでと違う点は理系入試だけではなく、文系入試もする点です。

部会長

文理融合ですか。

委員

そうです。

船員労政課長

新設の時期は決まっていますか。

委員

2年後の2021年4月です。

委員

名称変更という認識でよろしいですか。

委員

中身も相当に変わります。

委員

船員養成90名はこれまでと同じで、残りが変わるのですか。

委員

まだ詳しくは分かりません。

委員

それが今日プレス発表されるのですか。

委員

そうです。今後の方向性が書かれた資料が近々にもホームページにアップされると思います。

部会長

皆さん、全力を挙げて支援、協力をしていきましょう。

委員

まず内容をリサーチしてから。全力でバックアップするのか、または全力で阻止に動くのか。我々の立場では。

部会長

そうですね。それは確かにそうかもしれません。

それ以外に何かございませんか。労働者側からございますか。

委員

7月10日、関西地方支部において「内航海運労使懇談会」が開催しました。

内航事業者から8社10名、船主団体から2団体2名、船員教育機関から7校7名の方が出席し、主に若年船員の育成と採用について意見交換を行いました。

そこでは、学校側と会社側の認識の違いも若干見受けられましたが、目立った意見としては、学校側では教育訓練船の存続が難しくなっているという話がありました。

老朽船を修繕しながら延命させてはいるが、だんだん難しくなっており、3校合同で（1隻を）存続させるのはどうかという話もあり。他には、地方の水産系高校では定員確保が難しいという話も出ていました。

会社側の意見としては、新規採用者のミスマッチの話がよく出ていました。想像していた仕事、職場と違うなどの理由ですぐ辞めてしまうと。また、女性船員の対応が難しいという話もありました。

次年度以降もこういった懇談会を開催して、会社と学校の共通認識を図り、よりよい育成、採用につながればと考えています。

以上です。

部会長

それでは、使用者側から何かございますか。何でも結構です。

委員

今日は（使用者側で）私一人しかいないので、意見をしづらいですが、私も船員部会が今日初めてで、これからがスタートですが、いろいろ知識を吸収して、また意見できるようにしていきたいと思います。

私らも船員不足で、そこを解消するために、さっき言われた女性船員の採用を検討していく中で、本当に難しい現実には直面しています。女性船員の求人は少ないので、募集したらすぐ来るだろうという安易な考えでいても、給料が合わないのか、船が男性の世界でそもそも入りにくいのか、私ら、女性船員が来ない原因、理由を履き違えているのかなというのがあるって、そういうところの解消にも、これから動いていかざるを得ないと考えています。

部会長

ありがとうございます。

委員

うちの大学でも女子は1学年に航海科で5人程度、全体の2割ほどいますが、後々の生活を考えてなのか、その半分ぐらいは陸上職に就職しています。最近は陸上の有名企業で就職しています。

一方で、今年はお出光タンカーさんが女性船員を採用していますが、おそらく初めてだと思います。今まで邦船大手3社はそれなりに女性船員を採用しており、今年も東京海洋大学から1人、女性航海士を郵船さんに採用されていると思います。出光タンカーさんが女性船員を採用したのは、本当に珍しいなど。どんどん変わってきているような気がしています。

あと、パイロット。これは女性が行きやすいのか、試験を受けています。船の世界に行きたい女性も数は少ないですが、確実にいます。

部会長

ありがとうございました。

委員

今日、船員部会情報の公益委員による学生インタビューの資料を見て、非常に衝撃を受けました。船内でかなりパワハラ的な何かが行われているのではないかと勘違いされるような内容だ。

昨今、私どもも各船社と意見交換、懇談会等をやる中で、パワハラを非常に問題視していて、意見交換をしている。今、各所でお金をかけてパワハラ対策として、研修会や専門家を招いたパワハラ講習など、いろいろ取り組んでいるはずだ。未だにこういう話が出てくるのは、かなり衝撃的で、いいことが一つも書いてない気がする。

今、ここで質問しても仕方がないのかもしれないが、敢えてこういうことだけを抽出して、レポートに挙げたのかどうかです。これがインタビューの全てなのかどうか。もしそうだとすると、私の認識と大分差異があるというのが1点。

次に、電波の特性について。海上のいわゆるデジタルデバイドについてですが、これはかなり以前から取り組まれているはずだが、なかなか遅々として進んでいない。一番気になったのは20ページの「海上における通信環境の改善に向けて（まとめ）」の内容。国交省さんが大変な資料を取りまとめているようですが、これもまだ考え方が停滞しているというか、当然のことをあてがうように書いている。まず「船舶ごとに通信を困難としている要因を確認・分析が必要」って、こんなことは以前から分かっている話です。衛星を使えばもちろんクリアできますが、陸上から漏れている電波を船で拾っているわけで、それが届かないところは電波がない、分かりき

った話です。

また「船ごとにニーズや予算等を明確化し、それに見合った方法を選択することが必要」って、これも当然です。お金をかければ解決する話なので。国交省の認識がまだこんなところに停滞しているのかと、かなり衝撃的でした。せっかくこういう資料をまとめるのであれば、もう少し前向きで具体的な、総務省と連携してこういうことに取り組んでいくというようなことを、明記してほしかったというのが1点。

あと、もう一点、最後に、前回、私が質問した商船高専の入試倍率が下がった件についてはいかがですか。

部会長

その点については後で御回答いただければと思います。ありがとうございました。

委員

衝撃でした。この資料。

部会長

行政側から、それを含めてお願いいたします。

海事振興部次長

学生インタビューの件、ホームページ上もこれしか載ってなかったのも、ほかの意見があったのかどうか。また機会がありましたら報告いたします。

委員

インタビューした内容が本当にこういう内容だけだったのかどうかを知りたいわけ。

海事振興部次長

確認させていただきたいと思います。

委員

これを見たら、誰も船に乗りたいたと思わないでしょう。

委員

こういうインパクトのある意見をあえて言う人がいます。受け狙いということでもないですが。うちの学生も面談時に、ロースクールなどで困ったことがないかと訊くと、こういう（ネガティブな）ことを言う学生はいます。確かに、どういう状況だったのかが知りたいです。

委員

私もちょっと酷いという印象を受けました。

委員

この資料は誰でも閲覧できる状態になっているのですか。

委員

なっていますよね。であれば、もう少し気を遣っていただきたいと思います。これではますます船員離れが進んでしまいます。これだけじゃないでしょうけど、いいこと一つも書いてない。

海事振興部長

私も驚いています。やはり何か意図があると思えない。これによって船社がいい方向に向かえばいいのですが、逆に学生さん達に変な形で情報が広がって、悪い方向に向かうとよくない。

委員

そうです。学生には先輩後輩、縦横の繋がりがある。更にSNSがこれだけ浸透している中で、こんな情報が一人歩きするとよくない。こんなのがホームページで閲覧できてしまうのですか。

海事振興部長

はい。交通政策審議会の船員部会の配付資料として。

委員

載せるほうも載せるほうだと思います。考えられないですね。

海事振興部長

一方で心当たりのある事業者さんがいるのならば、これを改めようかとなればいいのですが。

委員

そういう啓発はあるのかな。

海事振興部長

そういった狙いがあるのかもしれません。

委員

あと、デジタルデバイドの件は本省に強く言ってください。考え方が遅すぎると。

委員

若者は今、情報収集ルートは本当にインターネットが主体になっていて、私たち、神戸大学も、さっきロースクールの話をしました。学生達に情報が少な過ぎると言われています。私立大に比べて情報が余りにも少なく、中の様子が分からないので不安だったという意見があって、非常に参考になりました。

(国立大学は)私立大学に比べて予算が少ないので、ホームページにも予算をかけられないのは弱みです。学生達はインターネット以外のリソースをほぼ使ってない。パンフレットなどに一所懸命文字を載せて配っても、誰も見ていない。

委員

今はそうかもしれないですね。紙媒体よりもネットの情報発信が重要なかもしれない。

委員

しかも、写真や動画をたくさん載せるほうがいい。

海事振興部次長

あと、前回の船員部会において、船員教育機関の入学状況一覧でお示しをしました中で、商船高専の入学応募倍率が平成30年度1.9倍であったところ、平成31年度では1.5倍まで下がっている件について、理由が分かれば知りたいという御質問を労働者委員からいただきました。

この件で本省に確認したところ、一つは、昨年発生した西日本豪雨が大島商船高専と弓削商船高専のオープンキャンパスに影響を与えてしまったのではないのかという点。二つ目に、昨年、大島商船高専が所在する周防大島の大橋で外国船が衝突事故を起こして、未だに復旧途上にあるということが影響したのではないのかという点。3点目に、広島商船高専の商船学科の応募倍率が、その前年非常に高かったため、受験者に回避される傾向があったのではないのかという点。

以上、御報告させていただきます。

委員

併願ができなくなったという話もあるのですか。

海事振興部次長

それはなかったですね。

部会長

御質問等、ほかに御意見ございませんでしょうか。

海事振興部次長

最後に資料をつけさせていただいている、令和元年度の船員最低賃金の改正予定案について、御報告させていただきたいと思います。

今年度も社会全体として、最低賃金に関して非常に関心が持たれる状況になっており、中央においても、今月、交通政策審議会に船員の最低賃金改正が諮問されました。つきましては神戸運輸監理部としても、本部会で報告をさせていただいた上で、早々に近畿交通審議会に対して、最賃改正に係る諮問を運輸監理部長名において行いたいと考えております。

その後のスケジュールとしては、お手元の案のとおり、官報公示をして、最賃部会の委員の任命を行い、10月上旬から漁業、旅客、内航、それぞれで最賃部会を開催したいと考えております。

あくまで予定ですが、漁業につきましては漁期の関係がありますので、非常に大変ですが、例年どおり集中的に御審議をいただいて、早期に答申案が確認できればと考えています。旅客、内航も11月頃にはご審議いただいて、いずれの答申案も船員部会において決議し、年内に近畿交通審議会に報告。そのとおりの答申をいただいて、年明けに官報公示、年度内に発効という流れを想定していますので、皆様の御協力をよろしく申し上げます。

部会長

ありがとうございました。

委員

漁業の最賃部会について、労働側委員として海員組合の出席を検討していただいていたと思います。昨今、いわゆる外国人技能実習生の賃金を含めて、最賃が準用される部分があり、また、その技能実習生もかなり増えている状況もあることから、委員として入れていただきたいと、私の前任者がお願いしていたと思いますが、それについてはどうでしょうか。

海事振興部次長

その意見要望については私も伺っていますので、近々、但馬地区（の漁協）に漁業の実態調査という形で伺って、その件についても意見を伺いたいと考えています。

ただ、考えられる要素として、（最賃部会は）公労使の委員が同数というルールがあって、今、但馬漁協と浜坂漁協で2、労働者委員も2、公益も2となっており、そこに全日海さん委員として入ることができるのか、3が有りか、そのあたりがまだ分からない。

委員

我々の考えとしては、今いる委員を排除して入ろうとは考えていない。
新たに増やしていただいてという考えです。

海事振興部次長

その辺りを漁協に話をして、率直な意見を聞かせてもらいたいと考えています。

委員

是非よろしくお願いします。

部会長

ほかに何かございませんか。よろしいですか。
最後、事務局から御連絡事項ございましたらお願いいたします。

海事振興部次長

事務局としましては、特段にこれ以上の連絡事項はございません。

部会長

特になければ、本日の部会はこれで終了させていただきます。忙しい中、ありがとうございました。

次回の船員部会は8月23日金曜日15時30分からでございます。どうぞよろしくお願いいたします。